

## メーリングリスト委員会について



小学生の時の組替え直後の緊張感を覚えておられますか？自己紹介のために教壇に向かう一挙手一投足、自分が発する言葉に集中する級友の何十もの目と耳。よく知らない人の言う事なす事にはとても興味を持つものです。

こうして実生活で知り合った人は目と耳とから同時に入ってきた情報でどういう人なのかを理解していきます。

SNKメーリングリストが発足したときはともかく、現在では参加者は誰かの知り合いであっても多くの人とは面識がありません。知り合いとのメールのやりとりは葉書のやりとりと同じく日常生活の延長です。しかし、直接会ったことのない人の人格は、投稿したメールの文面から受ける印象で判断しがちですが、小説や漫画の原作者は、その登場人物の誰とも似ていませんし、殺人事件ばかり書いている小説家には殺人の経験はありません。

文章だけを見たときには、それを書いた人がどんな人なのかを言い当てることは極めて困難なことなのです。見知らぬ人とのメールのやりとりは、今まで経験をしたことのない全く新しい情報伝達手段だと認識しないとトラブルの元になるかもしれないのです。

正義・正論と思って書いた雄弁な文章は、その人を実社会で知らない人には、尊大で上から目線の高慢ちきに思わせるには十分です。渦中の人も、尊大に感じた人も自分のせいであつたとは思わないものです。

メーリングリスト委員会は、ベカラズ集を振りかざすのではなく、誤解を解くことを旨として活動して参ります。

記：委員長 和田豊郁

## “パソコンを楽しもう” 講座運営委員会

### 第1回 ブログ講座 (担当講師 井上晰雄)

「ブログは新しい目玉商品が次々と出てくるので、マンネリ化になりにくい」とは、ブログ担当の井上先生のお話です。カリキュラム最後の時間は、ブログよろず講座と題して、受講生一人一人の作成したブログのページを見てあげる。躓いたところ、とか、今少しの難しいところを受講生と一緒に完成に漕ぎ着けます。

知識や理解不足で投げ出す生徒さんが一人も出ない、次のステップアップに繋がれる。講座終了時には次回の学習予告を出し、テキストが充実しているので、受講生は殆んど予習をしてくる、したがってブログの学習がスムーズに進んでいく、これが人気講座の理由です。

#### —SNKパソコン講座の紹介より—

ブログに触れて、お友達や家族間での記事や画像など、コミュニティの場が出来、楽しい輪が広がります。また、自分の趣味や仕事など日記代わりに最適です。

- 1、講座名 「ブログ講座」
- 2、実施日時 月曜日 10:00~12:00  
(但し月により実施回数が変わります)
- 3、実施場所 荘島町 SNK 教室
- 4、内容

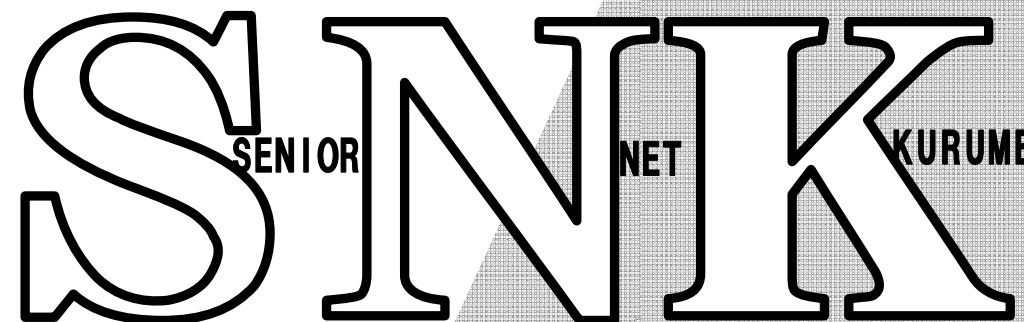
はじめてブログに触れ、お友達やファミリー間での記事や画像などでコミュニティの場が形成され楽しいブログの輪が広がる事でしょう。

その他自分の趣味や仕事等で日記代りに使ったり、家族や友人とのつながりなど最初に目的をはっきり決めると、ブログが一層楽しくなることでしょう。そのための基本を学ぶ講座です。



備考、受講にはノートパソコンの持ち込み可。筆記具など  
詳細はSNKホームページの講座紹介をご覧ください。

今回はMIDI教室を予定  
記：委員長 中丸哲子



編集・発行  
NPOシニアネット久留米  
理事長 今津一躬  
久留米市荘島町13-1  
TEL 0942-46-2277

## この指とまれ、を楽しむ会

## 理事長 今津一躬

これまでのSNK活動で「にこにこステップ運動」「教育ボランティア」「ちっごアミーゴス」などの活動に参加して、おおいに『この指とまれ』の意義を感じて参りました。

SNKの日々の運営は、毎日陰で支えている事務局のみなさん、講座運営では講師陣・運営委員など、みなさんの黙々とした毎日の活動が支えています。言い換えれば皆さんの力なくしてSNKはあり得ません。これからのSNKを、みなさんの手助けのもとに協力してやりましょう。

第9期の総会にてみなさんをお願いしたことは、SNKに集い、お互いの連帯を強めることでした。シニアのみなさんは、これまでの人生で学んだ経験に誇りを持ち、お互いが気高い思想を育ててきたわけです。だがややもすれば「人の意見は聞かない、自分の意見は変えない」こととなりますが、自他とも「そうだ」と認め合うことが大切だと思います。

昨年度メール上でトラブルに見舞われました。新入会員のみなさんの目には、シニアの老害としか映らなかったことと思われまます。誇るべき人生哲学は、痴話喧嘩にしか見えません。

会員のみなさんをお願いしたいことは、たくさんある会の活動に、新しい会員のみなさんが参画しやすい環境づくりをお願いします。会員の皆さんの多彩な趣味特技を生かして、気軽に『この指とまれ』を合言葉に、誰もが気軽に参画して頂く雰囲気を作っていきたいと考えています。活動に参加して、人の輪のつながりや学習体験、楽しみが増え広がるのが大切だと思っています。

## 私の1枚・・・傑作 “千光寺の紫陽花” FinePixS3Pro : 隈 充寛

紫陽花を美しく撮るためには、紫陽花の気持ちとなつてみる方が良いでしょう。朝から小雨模様、涼しさが残る日の花は少しの風に揺られて輝いている。



## アートだよ・会員の活動状況

### 会員の芸術活動

☆西部水彩公募展が、石橋美術館1階ギャラリーで4月下旬、開催された。60回記念ということで沢山の公募があり、見事入選された方のそれぞれ個性ある作品が展示されています。江藤黎子さんの作品も、素晴らしく、厳しい選考の中で入賞を果たしています。文化センターの花壇や花みずきを愛でながら、美術館へも立ち寄り、楽しい1日となりました。(紹介者:会員 井手元子)

編集部 昨秋、シニアネットサミットで大合同した九州のシニアたち、SNKの新しい10年が始まる。オフ会に集まり、顔を寄せ合い、歌い笑い旧交を温めた1日。(弐)

☆2009年第49回西日本フォトコンテストに特選入賞、「パントマイム」のばらさんは好いですね。話に聞けば中央ヨーロッパ旅行時の一品ということです。ドレスデンの大道芸、黒いピエロが演じる悲しそうな顔・芸と、その背景に若いふたりの睦みあい、ばらばらな人間感情が見えます、私も行きたいな。(紹介者:会員 珠理)

☆久留米市連合美術展、洋画の部で連文会員賞を受賞した井手元子さんの「筑後川」、久留米市の中心部を筑後川の流れて括り、市庁舎や教会の尖塔が見える楽しい絵です。川は久留米の象徴でもあり、そこで生活する人々の姿や歴史が見えるようです。(紹介者:会員 一ノ瀬尚文)

# 特集 この指とまれ、オフ会は新たな10周年への旅立

修練のサクソフォンが響き、シャンソンをコンピで歌ったモンパリさんたち、シャルウィダンスのロイさんたちが踊りそれに合わせて踊る人。崖の上のポニョをハーモニカで吹いた牟田さん、曲に合わせて大合唱。どうしてもステージに立ちたい前理事長広津さんの手品。賑わいのピークは中央テーブルを囲んで全員が踊った炭坑節、オフ会は盛大な賑わいで終了した。顔を合わせる最大のチャンスであり、日ごろのご無沙汰がこの日にはじけた嬉しい笑顔となりました。はしゃぎ過ぎたみなさんは、別れを惜しみ三々五々とグループを作り2次会へ、カラオケや積もる話の出来る場所へ。



1



2



3



4

## 平成21年度 総会とオフ会

## 事務局長 金子忠次



市内のホテルを会場に、第9期総会とオフ会（新入会員歓迎会&交流会）を開催。総会は、今年も約50名の出席者が熱心に討議に参加されました。まず今津新理事長が挨拶のなかで、新年度にかける意気込みを熱く語られました。また、昨年度のSNK10周年イベントおよび九州6団体によるサミットは大きな意義がありました。

活動報告、決算及び予算その他の議題は特に異議が出されることなく原案通り承認され、最後に前期で退任された廣津前理事長、須佐前監事、長谷部前理事から挨拶がありました。

午後は恒例のオフ会です。新入会員は15名と近年になく多くの方が参加されました。最終的には参加者数は合計88名と昨年を上回る人数となりました。1年ぶりの開催だったこともあって、懐かしい顔に会えた喜びに話の輪が広がり。会場は例年以上に和やかな雰囲気にも包まれ、新たな10周年へのスタートを祝うイベントとなりました。

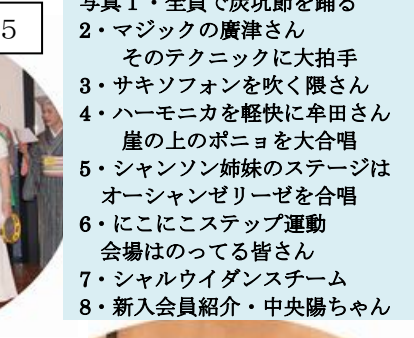
ステージでは、隈充寛さんのサクソが素晴らしい音色で大人の雰囲気を醸し出したあと、英語の歌の会の澁刺とした合唱が会場に響きわたりました。知る人ぞ知る牟田さんのハーモニカや松本さん松村さん姉妹のシャンソンはSNKにはすごい芸達者がそろっていることに驚かされました。昨年引き続き平尾さん、武友さんの若さがはじけるステップ運動の紹介の後は、おなじみのシャルウィーダンスから更には恒例の炭坑節の踊りの輪がいやが上にも喜びと和みの雰囲気を盛り上げて閉会となりました。お世話して下さいました江尻さんをはじめ幹事の方々に改めて感謝致します。



6



5



7



8



上：総会にて活動報告の金子さん 下：総会およびオフ会と1日の行事を終え散会前全員集合

- 第9期通常総会概要報告  
5月30日10時00分開会  
金子事務局長より定足数の確認(資格審査)  
議長選出 今津理事長が議長  
1・今津理事長挨拶  
2・議決事項[1～4号議案] 各議案拍手をもって承認  
3・第10期理事選任報告 再任 11、新任 1、退任 3  
4・メーリングリスト委員会 委員長 和田豊都ほか2名  
5・技術部:部長:新田ほか2名  
同日 11時20分開会を宣言

## オフ会 88名は楽しい交流でした。 総括幹事 陽ちゃん(江尻陽一)

4月初旬に第一回実行委員会があり、交流部と前年度の幹事さん方がサポートしてくれるということになった。暗夜航路のような気もしたが、ともかく船出だった。

その後、二回の実行委員会でアトラクションの内容、新人で返事のない方への電話での勧誘等を重ね、参加者がうなぎのぼりに増えた。最終締め切り後に参加者の名前を入れたメールを送信したら、自分の名前がないとお叱りを受けた。中には送信先が別のところだったりしてこちらに届かなかった方もおられたが、私の見落としもあったことでしょう。メールは便利ですが、紙の媒体ではないからどうも不確かでなりません。私も古い人間なんですか。ともかく幹事一同てんでこ舞いの日を重ねてその日を迎えた。最終的に88名の参加者で大盛会だったと果たした満足に思っています。仲間として働いた幹事の皆さん、参加者の皆さん、司会の牟田さん、スージーさん、アトラクションに出演してくれた皆さんに最後に大きな声で「ありがとうございました」……（聞こえませんか？）と大きな声で言います。来年もまた元気で会いましょう。